

産業建設常任委員会会議録

1 開会日時 令和7年7月15日（火）午前10時0分

2 閉会日時 令和7年7月15日（火）午前11時14分

3 会議場所 委員会室

4 出席委員

1 番 横山 裕太君 2 番 行本 大輔君 8 番 佐藤 武君

11 番 保田 守君 15 番 金谷 文則君 18 番 佐藤 武文君

5 欠席委員

なし

6 説明のために出席した者

産業振興部長	大窄 暢毅君	建設事業部長	桐谷 文昭君
総合政策部参与兼 赤坂支所長	小坂 憲広君	総合政策部参与兼 熊山支所長	稲生真由美君
総合政策部参与兼 吉井支所長	中務 浩行君	建設事業部参与兼 総合政策部参与	岡本 和典君
建設事業部参与兼 建設課長	福圓 章浩君	農林課長	岡田 浩司君
商工観光課長	小西 憲裕君	上下水道課長	谷 宣道君
地域整備推進室長	森本 祐司君	農林課参事	服部 保典君
赤坂支所 産業建設課長	難波 明則君	熊山支所 産業建設課長	砂子 武久君
吉井支所 産業建設課長	松下 和宏君		

7 事務局職員出席者

議会事務局長 原田 光治君 副参事 青木 智彦君

8 協議事項 1) 事業の進捗状況について

2) その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

協議事項1番目、事業の進捗状況について説明をいただいた後、部ごとに質疑を受けたいと思いますので、産業振興部のほうから説明をお願いしたいと思います。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） それでは、農林課所管部分について御説明いたします。

資料2ページを御覧ください。

1、事業の進捗状況について、(1)事業の進捗に係る報告について説明いたします。

資料3ページを御覧ください。

この資料は、発注の予定価格が250万円以上の工事や委託業務の進捗状況について、市の建設工事等の発注見通しの公表に係る事務取扱要綱によりまして、当委員会では四半期毎に御報告させていただいているものでございます。

5月の報告から進捗のあったものについて報告いたします。

林業総務費では、上から2行目、森林経営管理事業支援業務については6月30日に契約締結済みとなっております。

林業振興費では、松くい虫予防事業（空中散布）薬剤散布業務については6月6日に完了しております。また、薬剤調合積込業務につきましても5月30日に完了しております。

今後につきましても各事業の進捗をお知らせしてまいります。

○農林課参事（服部保典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 服部農林課参事。

○農林課参事（服部保典君） 続きまして、(2)就農等支援センターの設立スケジュールについて御説明いたします。

資料4ページを御覧ください。

就農等支援センターにつきましては、現在農家からの相談や新規就農者の支援などの窓口対応を行う法人の設立に向け、関係者との調整を継続しています。

就農等支援センターは、津崎地内において整備を進めています次世代農業技術集積センターを活用して展開することとしています。事業の運営にあっては、法人格を持つ組織の設立が必要となりますが、現在運営組織の案としまして、次世代農業技術集積センターを整備運営する青空株式会社、シーアール物流株式会社及び農業協同組合を想定し、一般社団法人として組織の設立を計画しています。

就農等支援センターでは、それぞれの関係機関が持つ農業技術、情報等を活用し、市内の農業に対して幅広く支援をしております。また、将来の方針として、公益認定を申請し、公益社団法人化も視野に入れた事業を実施していく予定です。

資料5ページを御覧ください。

就農等支援センターの設立に向けた今後のスケジュールは、本年度中に関係者による事業内容、経営方針、出資金等について検討し、方針を決定してまいります。関係者の了承、経営計画の見通しがつき次第本委員会に説明し、法人化に必要な手続を行ってまいります。現時点では遅くとも令和9年4月当初に法人登記を終え、事業の開始を予定しているところです。

農林課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いします。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） それでは、事業の進捗につきまして商工観光課から説明いたします。

3ページを御覧ください。

事業の進捗に係る報告につきましては、記載のとおり2件ございまして、前回説明と変更ありません。

次に、7ページをお願いします。

(3)新イベントについて説明をさせていただきます。

新イベントに関する状況ですが、花火大会、あかいわ祭り、ワインフェスト等が新型コロナウイルス感染症をきっかけに全て休止していましたが、5類移行に伴い令和5年度に全ての祭りを開催しました。令和6年度は、イベントの見直しを図るために全てのイベントを休止していました。

その間に課題を整理しましたところ、特に花火大会における安全面の問題、警備費用、資材などの高騰による経費の増加、行政主体によるイベント内容のマンネリ化、イベントを開催する目的が不明瞭、実施する手段が目的となっている等がありました。

その問題を解決していくための方策として、民間事業者、大学生、関係団体、行政職員などを招集し、新たなイベントの目的、コンセプト、内容などを検討するワークショップを開催し、提案を示していただきました。その提案を基にし、新たなイベントについて検討を行いました。

8ページを御覧ください。

現在検討中の新イベントについてでございますが、まず方針として、市民等のニーズに合った新しい形であり、赤磐市の強みを生かす素材の磨き上げを行います。行政主体ではなく、民間や若者と共に取り組みます。これにより地方創生につなげていきたいと考えております。

次に、目的としましては、観光資源が枯渇する冬への誘客につなげるとともに、次年度は夏の時期に開催する予定のイベントにつなげるための仕掛けの一つとして実施いたします。地域

の魅力発見の機会や、地域の人にとって新たなにぎわいの事業ができることは、楽しい、わくわくするという期待や楽しみをつくったり、活力を生むことを期待しております。

予定しているイベントの内容としましては、①実施時期は令和8年3月上旬、②開催場所はおかやまフォレストパークドイツの森、③実施内容としましては、食で楽しむ「あかいわ」をコンセプトにしたブース、子供たちが楽しめる「企業やNPOなどの活動や体験ブース」、「踊り」をテーマとしたステージイベント、来年度の夏につなげるための仕掛け、花火など、現時点ではこのような内容を軸に検討を重ねております。

9ページを御覧ください。

事業のスケジュールとしましては、令和5年度から民間事業者、大学生、関係団体、市の若手職員などが集まりワークショップを開催し、様々なアイデアを出し合い、令和6年度に準備会として議論を重ねてきました。今回の9月の補正予算で関係経費を上げさせていただく予定と考えておりますが、その後10月に実行委員会を立ち上げ、3月のイベント開催を目指していきます。

10ページを御覧ください。

新しいイベントの実施に向けた組織体制の案ですが、現在の準備会の委員の方が実行委員会の委員としてイベントの開催を進めていきます。また、市内の企業や中学校、近隣の高校などの若い層、様々な出店関係者に協力を仰ぎ、巻き込んでいくことを想定しております。

以上で説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

ここで産業振興部の説明がありました件についての質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 就農等支援センターの件なんですけど、今の説明ではなかったんですが、6ページにいろいろ詳細が記載されてるんですけども、この中で4つほど質問がありまして、まず一番上の桃、ぶどうの農園を確保するっていうことなんですけども、これは就農等支援センターが一般の方の耕作放棄地なんかの農地を御購入されて、この支援センターのものとして管理するという意味でいいんでしょうかっていうところと、2番目が、農業機械バンクということで農機具の貸出しを行うということなんですけど、これはちょっとしかなかったらあまり意味のないものかなと思ひまして、どのぐらいの規模で何を何台とか、そういうことは考えられてるんでしょうか。

次に、3番目が農地の荒廃防止のところでも中間管理機構を通じた農地の貸し借りの集積っていうことなんですけど、中間管理機構も既にこういったことはやってると思うんですが、この支援センターとしてどのように一緒に関わっていくのかっていうことを詳しく教えてください。

い。

最後に、私の一般質問のときに、前田市長が選挙のときに有機農業に取り組むっていうことを訴えられていたと思うんですけど、この中で、技術開発っていうところもあるんですが、有機農業についての取組っていうことは考えられているのか教えてください。

以上4つです。お願いします。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） まず、6ページに書いてありますのは、就農等支援センターで今後業務を行うであろうという案のことを書いております。実際には、今支援センターのほうで業務を主に進めていくのは農作業バンク、それから農作業受委託、そういったものを中心に今考えていっているところです。研修圃場管理、就農研修につきましては未利用圃場を利用して桃、ぶどうの農園を確保する、これは一般財団法人で今後やっていければ農地のほうも確保して業務ができるのではないかとということで上げております。

それから、農地の荒廃防止、こちらは既に中間管理機構がやっているんですけど、本年度から農地の貸し借りににつきましては市のほうが業務を行って農地中間管理機構に渡しているといったようなことになっておりますので、そちらの窓口業務を行うように考えております。

それから、農業機械バンク、こちらの機械の量といった話ですが、こちらは現在ニーズ調査を実施する準備をしております。その中で、どれだけ実際に市民の方がこういったことを求めているのか、そういったことから機械の量、それからそれに伴う出資金、そういったものが必要になってきますので、こちらは今後お知らせをしていきたいと考えております。

有機農業につきましては、一般質問で回答しているとおり、今実際に圃場、有機農業ができる場所、そちらのほうを整備していくことが重要だと考えております。今実際に有機農業ができる場所といたしましても、吉井川上流であるとか、あとほかの農薬がかからない完全なハウスであるとか、そういったことであれば有機農業は活用できるのかなと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 横山委員、いいですか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 未利用圃場の確保の件なんですけど、これは支援センターで確保して使うのは、新規就農者とかそういう方が貸してもらえるみたいな、そんなイメージなんですか。

あともう一個、有機農業について、農地の確保ということはおっしゃるとおりなんですけど、質問したのは、ここの技術開発ってところで有機農業のやり方とかそういうことをここで

教えてくれたりとか、そういうことの検討はあるんでしょうかというところを聞きたいです。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 未利用圃場を活用して農園を確保するといったところなんですが、そちらのほうは桃、ぶどう、野菜等の農地を確保した場合に、そこで栽培研修であるとか新規就農者の育成を支援する、そういったことを想定しております。

それから、有機農業に係る技術支援とかそういったことは、現在その案の中には入っておりませんが、今後そういったものが必要であれば検討していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 今日初めて組織の概要ということで説明いただいたんですが、ピントがずれてたらごめんなさいということでお尋ねしたいんですが、これから細かい部分についても詰めていくんだろうと思いますけれども、いわゆる利益、営利を追求せずというようなことで法人を設置されるということなんですけれども、出資金についてもこれから協議をされていくんだろうと思いますけれども、まずその出資金というのはどの程度を想定されてるんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 出資金につきましては、今後、今準備を進めているニーズ調査、そういったことから規模がどれくらい必要かといったようなことが出てくると思います。そちらの中で出資金の計算をしていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） まさしくこれからの協議であろうというふうに思います。

そうした中で、赤磐市としての取組なんですけれども、関係者がそれぞれ書いているわけですから、例えば相談窓口であるとか業務を展開するというふうには書いてるんですけど

も、これはやはり関係者の中でそういう役割をそれぞれ担っていくということでいいんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課参事（服部保典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 服部農林課参事。

○農林課参事（服部保典君） 組織の形態でございますけれども、今のところ、青空、シーアール物流、市、それからJAと協議を進めてまいりまして、窓口で一体どのような対応をしていくのかというのは今後決定していくことで考えてございます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 新イベントのことについてお聞きしたいんですけど、これは予算のことと言うたら、国も地方創生で大分予算をつけるようなことを言よんで、そういうものも十分この中には織り込み済みということなんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） 費用は約1,000万円を予定しておるんですけども、そのうちの2分の1は地方創生の交付金を活用する予定になっております。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長、もう一件。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） この中で、若者と民間ということをやつたんですけど、一般的に今までのイベントしようたら地域というもんが入ってきてやりようたんですけど、地域が関わるといことはもう考えてないんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） もちろん地域の方も関わっていただきますので、実行委員会の中には、例えば商工会の方とかにも入っていただきますので、地域の方も当然含まれております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 今後につなげる仕掛けということでこれ書いとんですけど、これはドイツの森の会場を借りて、花火やこうもやっていくという計画だと思うんですけども、この打ち上げ花火に関しては旧熊山の河原でやったりしました。それに関して地元のほうから再びできんじゃろうかというような話なんかも聞くんですけど、この辺は計画の中に加味して、場合によったらそういうふうな声を聞いて、流れる的にはドイツの森ですとするとというんじゃないしに、そういうふうな考え方も含めて考えてもろうとんかなと思うけど、どうなんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） もうこの新しいイベントをこのままこの場所で、この形でずっと続けていくという形ではありませんので、形を変えたり、場所とかそういったものも今後は実行委員会とかそういったもので検討していきながら、観光誘致ができるものをつくっていききたいというふうに考えております。今後については、まだこれから内容も含めまして検討の余地があると考えております。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 今言うたんですけど、熊山の人なんかからも要望が、花火大会を熊山にはいろんなことが、年に1回、あの花火大会だけでも続けてほしいんだというような意見を何人かに聞いたんで、その辺も会議する中で考慮に入れて、皆さんで考えてほしいと思うんですけど、どうでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） 御意見ありがとうございます。

今後もそういった面も含めて、地元の皆さんの声、そういったものも考えて今後の新イベントについて検討していきたいと思えます。

○委員（保田 守君） 分かりました。

○委員長（金谷文則君） 他にございますか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 私も新イベントに関して質問が2点あるんですけど、8ページの概要についてのところで実施内容について、まず子供たちが楽しめる体験ブースということなんですけど、これは具体的にこういうところがブースを出すみたい候補は出てるんでしょうか。

もう一つが、踊りをテーマにしたってということなんですけど、別に踊りが悪いわけではないんですが、なぜ踊りをテーマにしたのか、その理由を教えてください。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） イベントの実施内容でありますけど、まだ準備会で検討している段階でありまして、これが確実に決まっているということではありません。大学生の皆さんとか地域の方々に入っていただいて、こういうのがあったらいいなという感じで今検討している段階でございます。まだ確定というわけではございません。まだ今後の検討を重ねていく予定であります。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） ということであれば、一つ意見として、さっき保田委員の質問にもあったとおり、地域の方の関わりというところで商工会の会長が入られてるということなんですけども、ほかのメンバーを見ると結構外部の方も多いのかなという印象だったので、先ほどの、もし体験ブースとか出すなら赤磐市の企業に声をかけるとか、そういうところはぜひ地域色を強くやっていただいたほうがいいのかと思いますので、御検討よろしくお願いします。

○委員長（金谷文則君） よろしくお願いします。

他にございませんか。

○副委員長（行本大輔君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 行本副委員長。

○副委員長（行本大輔君） 2点、確認というか念押しなんですけど、赤磐市就農等支援センターの件なんですけど、とてもすばらしい事業だと思うんですけど、市内の農家としっかりと直結する内容なのかっていうこと、あとは関係者団体のところが青空であったりとかシーアール物流であったりとか、大型農業従事者が関係者として参加しているわけで、市の特産物を現状多分作ってらっしゃる農家ではないと思うんです。なので、しっかりと今後、小規模農家を取り残さないための施策の肉づけをお願いしたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 今、これからまさにニーズ調査をやっていきます。中山間地のほうを中心にニーズ調査はやっていって、その結果を踏まえたもので農家に直結するようなことにしたいと考えております。よろしくをお願いします。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○副委員長（行本大輔君） ありがとうございます。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○副委員長（行本大輔君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 行本副委員長。

○副委員長（行本大輔君） 続いて、新イベントのところなんですけど、あくまで予定の開催場所とはなってるんですが、おかやまフォレストパークドイツの森ということになってると思うんですが、ここの施設に関しては入場料等々がどうしても発生する施設だと思うんです。赤磐市が開催するお祭りに参加するのに入場料が要るっていうのはどうなのかな。そこら辺をどう考えていらっしゃるのかなということと、もう一点、ドイツの森に行くにはメイン道路が1本しかなくて、公共交通機関からも離れているので、どうしても渋滞等が予想されるので、そこら辺もしっかりと鑑みた上で開催場所の選定を行っていただきたいと思いますが、どうでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） 入場料の件なんですけれども、まだこの部分については準備会でも未定でありまして、どうするかというのは今後の検討課題となっております。

それから、ドイツの森へのアクセスなんですけれども、確かに渋滞というのが懸念されておりますので、送迎バス等そういったことも考えて、なるべく渋滞が起きないようにするように調整したいと思います。

○副委員長（行本大輔君） 分かりました。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、私から質問します。

まず、赤磐市就農等支援センターのところの話なんですけど、これは就農等支援センターについては、以前県の農業技術の支援センターとのバッティングがあっという間に遅れてきたといういきさつがあるんですけど、その岡山県の農業支援センターが担っている役目と赤磐市の今度新しくやるその支援センター、重なってる部分が結構あるんじゃないのかなと思ったり、無駄なことをする必要はないと思います。今はちょっとお話を聞いてると、どうも県の関

係ともバッティングするところがあるんじゃないかなという気がしますが、そこをどのように考えておられるのかということと、それからJAと調整という文言が入ってるんですけど、この意味合いがどういう意味なのか教えていただきたい。

それからあと、農業の機械を貸し出すっていうんですけど、農家に機械を買えと、買うと例えば補助をするよというふうにしかならないんですけど、農家が新しい機械を買ったりするようなことはなかなかもうできないと思います。それも10万円、20万円の話ならいいんですけど、今の農業機械はそんなような金額じゃないんで、それをどのように考えて今のことをやっているのか、貸出しというても数に限りがあると思いますんで、そこをどう考えているのか。

それからもう一つ、有機農業の話も今委員からもあったんですが、有機農業が全てなのか、有機農業が必要なのか、有機農業じゃない農業は必要でないのか、有機農業でない農業に対しては、じゃあどういうふうな新しい技術とか対策をしていくのか。有機農業の定義がありますから、まずよっぽどのことがない限り有機農業をして出してくる農産物というのは結構難しいと思うんですけど、そこを赤磐市がどういうふうに取り組むのかということをお教えいただきたいと思います。

○農林課参事（服部保典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 服部農林課参事。

○農林課参事（服部保典君） 今後の事業の運営方針、それから県の農業経営・就農支援センター、それからJAとの調整につきましては、今後各自自治体、JAとかがやっておられる制度というのをお考えながら、あまりバッティングしないように就農等支援センターを設立していきたいというふうにお考えしております。

それから、農業機械につきましてですけれども、現在ニーズ調査を行いまして、離農される、規模を縮小されるという農家がおられるのであれば、そちらの機械を譲り受けまして整備をしていくというようなことも考えられますので、そのような機械の有効利用というのをお踏まえながら事業を展開してまいりたいというふうにお考えでございます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 農家の農機具問題ですけど、ニーズ調査に先立って一部の大型農家と話をしたんですが、実際に作業受委託のほうで市としてはやっていきたいと考えておりましたが、実際中山間地域のほうに外部委託、農作業の受託を大型農家に流しても大型農家が行けないという結論がありまして、その作業の内容によるんですが、ドローンであるとかそういったものは受託できますと。そういったこともありまして、現在中山間地域、特に吉井地域になりますけど、そちらのニーズ調査の中で今後農地を拡大していく意向があるところがどの程度あって、そこが求めているものは何だといったようなことの調査を進めているところです。そういった中で課題の解決に努めたいと考えております。

それから、有機農業ですが、有機農業の野菜として販売するには有機JAS、そちらのほうが必要になってくると思います。結構厳しいものになっておりまして、なかなか赤磐市の中でやる場所がないのかなというのは考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 今の有機農業の件、それは理想かもしれませんが、現実として今の環境としては難しいので、例えば閉鎖系の施設があってその中でやっていくとかということをして市がやっていくのであれば、市長が言われたのがそういう意味合いで言われたのかもしれませんが、有機農業用作物ということ、作って売っていくということになれば、そういうことを市のほうがやっていかなきゃまずできないと思いますので、そこもよくお考えいただきたいと思います。

それから、JAとの調整ということについてなんですけど、このことについては、もうそもそもこれをやるときからの一番最初から大きな問題としてあって、それは度々ここで問題が取り上げられてます。JAは独自に自分なりのものを、大きなセンターもつくりながら今やってるわけで、やっぱりかすみをかけたような話をしていっても、これ意味がないと思うんです。具体的にじゃあどうするのかっていう話がまだまだ出てこないというのは不思議ではない。だから、これどうなんですか、JAとどういう話をして今やっているのか、そこを教えてください。

それから、今の県の農業経営・就農支援センターとの絡みということについても全くしっかりした話が触れられてないんです。あれはできたからやめようって言ってやめたいきさつがあるにもかかわらず、バッティングしてる所はないのか。今話をされてるところを聞くと、大いにあるかと思いますが、必要でないと思います、今の話だったら。そこをどのようにお考えなのか。

それから、これも随分前から計画をしていることなのに、令和9年度から事業開始というように、まだ1年半のインターバルが、時間がある。その間、じゃあ何をするのか、どういう支援を今の農家にしていくのか、そのことについてどういう事業を計画されてるのかお話をいただきたいと思います。今なければ、またこれは協議事項としてしていただければ結構です。いかがでしょうか。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 県の施策とのバッティングの件ですが、すみません、勉強をもうちょっとしてから報告をさせていただきたいと思います。

それから、JAとどういう話をしてしているのかといった件ですが、この立ち上げの話といいますか、JAと話をしたときに、JAのほうも今実際に営農指導に回れる人間が少ないと、これは次世代のほうとも絡んでくるんですが、その中で技術指導をできる人間をJAのほうも育て

ていきたいのでJAも協力をしたいといったようなことを言われてました。

○委員長（金谷文則君） いろいろ課題があるので、ここに今日出していただいたものっていうのはこれから検討していくというレベルなのかもしれませんが、実質農業支援というのは技術指導が必要なわけですよ、農業支援センターだったら。だけど、今シーアール物流と青空のやつは、そこがその技術を持ってるっていうわけじゃなくて、自分のところのものを作るがためのもの、それをストックしたりするもの、そういう施設をやるのがシーアール物流、青空であって、一応文言としては指導をしていくんだということをうたってますけど、実際にそういう人がいるのかっていうたら僕はいないと思いますし、それからJAとの問題というのは、JAが成り立っていくために、例えば県の普及員だとかがOBになったらJAは、その技術が欲しいので、そこの方を雇って自分のところの農業指導員という形で取り扱っていきたい。そういうことで、農業技術の指導員がないからというんで県の農業経営・就農支援センターのほうも、あとなかなかやるのか大変だった。それから、赤磐市もそれが来てくださる人もいないからできないということで諦めたわけですけど、今回そういうのが、どんどん人が少なくなっているのに、そういう人はいないですよ。それが回ってくるといったら、お金を出さか、いろんなもんで優遇するか、そういうことがなかったら100%ありませんよ。それはもうずっと何年も前から課題としてあったはずですよ。

だから、ちょっと申し訳ないけど、詰めが甘過ぎて、こんなことは今投資を募ってやっていく、そんな見切り発車みたいなことをしていったら、途中でよくある農業公社がもう成り立たなくなってやめていくということになりかねないですよ。それで、基本は赤磐市の農業のベースは水稻、果樹っていうふうにならうたってあるんであれば、それをいかにやっていくか、その技術をいかに伝えていくか、指導をしていくかっていうことがはっきりない限り、この事業なんてできないですよ。よく考えていただきたい。

それで、今言った1年半の間はじゃあどう指導をしていくのか、具体的なものがないでしょ。検討している段階は検討してくれりゃいいけど、それはアウトサイドですよ。デスクの上での話で、実務としては何をやるのか。1年半もじっとしとくわけないと思うんで、これはこれから先、もう一度よく検討いただいて、次の会議にでも示していただければと思いますのでお願いをしておきたいと思います。

それから、新イベントのところなんですけど、先ほど副委員長からもお話がありましたように、場所については十分検討していただく必要があろうかと思います。警察のほうからのいろんな指導があって、熊山でやるのは、例の明石市の花火のときの問題もあって大変だということとは重々この行政でイベントをやっているところの方に聞いても同じようなことを言われて、警察のほうはかなり注意をされてるというのはよく分かりますので、そこは配慮した中でしかできないんだろうと思うんですが、ドイツの森でやるというのは、その会場内での整理はいいかもしれませんが、さっき副委員長が言われたように、あの道しかなくて、バスを用意して

も、車線が2車線あるんならいいですけど、どこかの場所で集まって車を置いて、そこからバスに乗って上がってくるなんていうのはもうまず無理ですよ。それはもう方便としか取れない。あそこの赤坂の運動公園でやるときだって、赤坂の中学校やらその辺から運ぶときだって、やっとのことで運んでいってる。それなのに、追越し禁止のある中で、あそこまで南のほうから人を運んでいくか。多分この辺の、例えばその小学校のところで集まってバスを用意していくって、空を飛んでいかない限りはもう無理ですわ。だから、そこら辺は、幾ら希望的観測があってもこんなことをやられとんのもいいかもしれんけど、これ最初から現実的に無理じゃないかと思えますよ。

ということと、もう一つは今のイベントをいろんな人が集まって計画されるのはいいんですけど、大学の先生ですか、メインでノートルダム清心女子大学の先生が多分音頭を取ってやっていかれるような形になってるんだろと思うんですけど、やっぱり先ほどいろんな委員からも質問があったように、もう少し地域住民の方たちをお願いをしていくっていうことのほうが必要で、地域住民の人が入ってない、よそからの人たちだけがやっていく、こんなイベントというのはやる必要もないのじゃないかな、今さら。もっと小ぢんまりでもいいから、やっぱり赤磐市民が自分たちでつくっていくような仕掛けを商工観光課としてはやっていかないと、みんなよその人が高みの見物から言った意見で1,000万円もお金を使っていくっていうことになりかねないのではないかなと。

それからもう一つは、例の新拠点のところもありましたけど、議員もいろんなところからの意見を聞いてるわけですから、このメンバーの中に一人か二人かぐらいの議員はいてもおかしくないと思えますよ。そこら辺も検討していただいて、次の会議のときにでもお答えを出していただきたいと思えます。一応お願いをしておきます。即答はなかなか難しいかと思えますけど、やるんだったら、本当にならんと変えてやっていただきたいなと思えます。

すみません、長々と話しましたが、ほかの方はよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、産業振興部のほうはそれで質疑を終了したいと思います。

次に、建設事業部からの説明をお願いいたします。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） それでは、事業の進捗状況について建設課から説明をさせていただきます。

資料11ページをお開きください。

1、事業の進捗状況について、(1)事業の進捗状況に係る報告について、12ページから16ページをお願いいたします。

12ページから13ページにつきましては、令和6年度から令和7年度に繰り越した主要事業を記載しております。

12ページの道路維持費関係としまして、昨年度実施した路面性状調査の結果を受けて、今年度約4.2キロメートルについて舗装修繕を実施する予定としております。4.2キロメートルにつきまして、7工区に分けて工事を実施させていただく予定であります。既に入札準備ができておまして、7月25日に業者が決定する見込みとなっております。

道路新設改良費関係につきましては、新拠点関連の予算執行の留保を解除していただいたことによりまして、新拠点関連の事業を追加しております。それぞれ発注する準備を行っておりまして、進捗状況については今後の委員会において報告をさせていただきます。

続きまして、14ページから16ページに令和7年度における250万円以上の主要事業を記載しております。

6月の補正で予算を承認していただいた事業を追加しており、それぞれ早期発注に向けての測量設計など、準備をしているところでございます。今後の委員会において進捗状況は随時報告させていただきます。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いします。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 続きまして、上下水道課から事業の進捗状況について御報告をさせていただきます。

資料11ページをお開きください。

1、事業の進捗状況について、(1)事業の進捗状況に係る報告について、資料は17ページから19ページでございます。

まず、17ページでございます。こちらは令和6年度から令和7年度に繰り越した主要事業の一覧でございます。

上の表が水道事業関係で、水道管移設工事が1件、配水管布設工事が2件、水源地設備更新工事が1件、計4件で、4件とも事業は完了いたしております。

続きまして、下の表が下水道事業関係でございます。

下水道の整備工事に係るものが1件、計画の策定など委託業務が3件の計4件でございます。既に2件につきましては完了しておりますが、その他2件につきましては早期完成に向けて事業を進めております。地区名、件名などにつきましては御確認をお願いいたします。

続きまして、18ページをお願いいたします。

令和7年度における250万円以上の水道事業関係の主要事業を記載しております。

5月の委員会でお示ししましたとおり、下水道工事に伴う水道管移設工事、配水池の耐震診断業務など15件を実施していく予定といたしております。

なお、表の8番、県道勝央仁堀中線改良工事に伴う水道管支障移設工事につきましては、県の工事の都合により次年度以降の実施となる予定でございます。

続きまして、19ページをお願いいたします。

下水道事業関係でございます。

こちら5月の委員会で説明させていただいたとおりの表でございます。

その中で、表の11番、マンホールポンプ監視装置更新工事（吉井）につきましては、入札を行いましたが、入札不調により再入札の準備中でございます。表の12番、マンホールポンプ監視装置更新工事（農集）につきましては、入札を行いましたが、落札者の契約辞退により、第2候補者と現在随意契約の準備中でございます。そのほかの事業それぞれにつきまして、早期発注に向けて設計積算、地元関係機関との調整を行っており、今後の委員会において進捗状況を報告させていただきます。

以上で上下水道課の事業の進捗状況についての報告を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

ただいまの説明について質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それじゃあ、ちょっと1つ。

マンホールポンプのところの不調があったり、それから契約辞退があったりっていうのは何か理由があるのでしょうか。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 不調につきましては、一般競争入札で行いましたが、2社、一応手を挙げられたんですけど、途中、機械の納入等について辞退ということでありました。もう一つのマンホールポンプの落札者が辞退ということにつきましても、機械の納入について、応札した業者がちょっと厳しいということがありまして辞退ということになっております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で質疑を終了したいと思います。

続きまして、協議事項2番目、その他に入ります。

建設事業部から説明をお願いいたします。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 資料11ページをお願いいたします。

2、その他、(1)桜が丘地内下水道管路緊急点検について御報告をさせていただきます。

資料20ページから23ページをお願いいたします。

6月16日から6月20日までの期間で、4月に発生いたしました下水道管の破損箇所、上下流400メートル及び下水道事業計画で義務づけられております腐食点検箇所3か所の緊急点検を実施いたしました。

まず、20ページをお願いいたします。

こちらが4月に発生しました破損箇所の上下流400メートルの調査の図、簡易の報告でございます。

この場所につきまして、破損箇所の下流12メートルにおきまして、こちらの写真にあります下の段に、破損とか損傷状況ということで、12メートルにおいて破損箇所が見つっております。この箇所につきましては、現在歩道に敷き鉄板を設置いたしまして安全確保を行っておりますが、早急に修繕工事を実施したいと思っております。

その他管路につきましては腐食等が見られる箇所がありましたが、今後工法などを検討し、対策を実施していく予定でございます。

続きまして、21ページをお願いいたします。

ここから腐食点検箇所3か所の管路調査の簡易報告となっております。

まず、21ページでございますが、こちらにつきましては桜が丘西8丁目地内の点検箇所でございます。この箇所につきましては、マンホール、管路ともに腐食が少ないという点検結果となっております。

次に、22ページをお願いいたします。

こちらが桜が丘東5丁目地内、コスモス付近の腐食点検箇所でございます。この箇所につきましては、マンホール2か所の腐食及び管路につきましては、腐食は少ないものの、大和ハウスから移管時の管構成部材の剥離が若干見られております。

次に、23ページをお願いいたします。

こちらが桜が丘東3丁目地内の点検箇所でございます。この箇所につきましても、マンホール2か所の腐食及び管路につきましても、5丁目と同じく腐食は少ないものの、移管時の管構成部材の剥離が見られております。

今回の報告につきましては速報の簡易版となっております。今後の修繕、改修につきましては、工法等を検討いたしまして、当委員会で御報告をさせていただきます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

ただいまの説明について質疑はございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 赤磐市の場合、雨水と下水をはっきり分けとんで、雨水が流入してとんでもないこと、破裂するとかそういうようなことはないと思うんだけど、かなり破損箇所があるということは、雨水がかなり流入しとるということは考えられるんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 今回の箇所につきましては、雨水というよりは街路樹等の木の根から侵食という状況も見られます。若干不明水とかあると思いますが、雨水が原因という感じではない報告にはなっております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長、もう一つ。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 以前、山陽団地で雨のときに非常に流入するというので対策工事をやっていただいたと思うんですけども、その後の経過とかというのは分かりますかね。山陽団地のほうでは一応の検査を当時されて、それなりに工事をされとると思うんです。今はそういうようなこと、事故の報告はないんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 現在のところ、そういう事故の報告等は受けておりません。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいですね。

他にございませんか。

○副委員長（行本大輔君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 行本副委員長。

○副委員長（行本大輔君） 損傷状況を写真で今確認して、木の根だったりとか損傷箇所ということで印をつけてくれてるんですが、今のこの損傷状況というのは、例えば10段階でいうと、今これ何段階ぐらいの状態なんでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 正式な報告はまた出てきますけど、これにつきましてはもう管が損傷してます。土が見えている状態ですので、10段階でいうと極めて危険なレベルなので、早急にここだけは工事を実施したいと思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○副委員長（行本大輔君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 行本副委員長。

○副委員長（行本大輔君） 極めて危険な状況ということだと思うんですが、もし分かればでいいんですが、この同時期に入れた下水管が他にどれぐらいの規模があるんでしょうか。もちろん同時期に入れてるものなんで、損傷具合というのはやっぱりほかの部分も、先ほど説明の中で、今後点検をしていくってということではあったんですが、その点検のスピード感もこちらとしてはしっかりと説明をしていただきたいので、お願いします。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 同時期にどれぐらいかというのは今資料に持ち合わせがないんですが、ネオポリスが50年ぐらい経過してるということで、ほぼ同時期に入ってる状況ではあると思います。特に下水道の今回調査したところも、ポンプから圧送して送ってくる箇所です。硫化水素が発生しやすい箇所となっております。全線となると結構な規模になりますので、特にそういう腐食が進むであろう、硫化水素が発生しやすい場所であろうというところから順次点検を行っていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○副委員長（行本大輔君） 分かりました。道路陥没等にもつながり、非常に危ない内容でありますので、引き続き早い調査のほう、よろしくお願いします。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で質疑は終了したいと思います。

その他、委員または執行部から何かありましたら発言をお願いいたします。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 稲生熊山支所長。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） 本日の山陽新聞、朝日新聞にも載っております。

ましたが、車検切れの公用車の運行について御報告させていただきます。

資料はございません。

赤磐市の熊山支所管理の公用車につきまして、自動車車検証の有効期限が切れた状態で公道を運行していた事実が判明しましたので、御報告させていただきます。

このような事態を発生させ、市民の皆様の信頼を損ねる結果となりましたことを深くおわび申し上げますとともに、再発防止に徹底してまいりたいと思っております。

事案の概要でございますが、令和7年6月13日に公用車の不具合がありまして修理工場へ車両を持ち込んだところ、5月26日に車検の有効期間が満了していることが判明いたしました。運転日誌等を確認したところ、有効期間満了以降14回、約550キロメートル走行しておりました。

原因といたしましては、車両管理を行っておりました熊山支所の産業建設課において管理体制が不十分であったこと、車両乗車前の確認ができていなかったことが原因となっております。対応としましては、車検切れ判明後、即車検を受けまして赤磐警察署のほうにも届出を行いました。

再発防止策といたしましては、今後は車両の車検日を複数の担当による確認ができるよう管理体制を整えるとともに、車両乗車前の確認を徹底し、再発を防止していきたいと思っております。このたびは大変申し訳ございませんでした。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

○委員（佐藤 武君） 委員長、この件でいいですか。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 車検切れということで新聞も報道されてましたけれども、他の部署では昨年末にも同じように車検切れの公用車があったという報告がありました。そうした中で、それぞれの担当課で管理はされてると思うんですが、逆に今支所長から複数の職員の目を通すような管理というふうな説明があったんですが、意外と担当というか、その係を専任してないと意外と素通りしてしまうという部分があるのかなと思うんですけども。要するに、赤磐市全体の公用車の一元管理というものはなかなか難しいのかなと思うんですけども、そういう部分も取り組んでいかなければならないと私は思うんですが。と同時に、車検を受けた整備工場なりから、普通我々の一般家庭においては車検がもうすぐ切れますよという通知があると思うんですが、市の場合はそういうものはないんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 稲生熊山支所長。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） この車についての車検のお知らせはありま

せんでした。

それから、組織としての車検日の確認でございますが、管財課が市の大元で取りまとめておりますので、組織としまして管理体制をいま一度強化していかにかいけんなということで体制をつくっていかうという話にはなっております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） この車については通知がなかったという御答弁なんです、それはなぜですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 稲生熊山支所長。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） ほかの熊山支所で管理している車両についても通知は来ないです。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 来ない理由が分からないんですが、官公庁の車検というのは整備工場にとっても通知がないということで今まで来てたんでしょね。となれば、やっぱり車検を受ける整備工場に対しても通知を出してくださいよというお願いをしてもいいんじゃないかなと私は逆に思うんですが、いかがですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 稲生熊山支所長。

○総合政策部参与兼熊山支所長（稲生真由美君） 通知をしていただくよう、お願いをしたいと思います。

○委員長（金谷文則君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） よろしい。

○副委員長（行本大輔君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 行本副委員長。

○副委員長（行本大輔君） 車検切れ、起きてしまったことはもう仕方ないんで今後の再発防止に努めていただきたいと思うんですが、公用車は市が保有する財産でもありますんで、市民の皆さんからすると、財産管理どうなってんだと、お金の管理どうなってんだということにつながりますので、本当にこういうことは再発がないようにだけ、念押しでよろしく願いいた

します。

○委員長（金谷文則君） よろしくお願ひします。

この件について、他に質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） その他について、何かございませんか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武文委員。

○委員（佐藤武文君） 1つお願いをしておきたいといひますのが、今回梅雨が早く明けた関係で、桃あるいはほかの特産物についても非常に被害が起きておる。また、今後は水稲についても被害が起きるのではないかなといふことも予測をされます。そういうようなことに関して、過去においても赤磐市独自の施策といふことは一切なかったわけなんです。そういうことの中で、国の施策に頼っておったといふのが実情ではないかといふふうに思ふんですけど、今回のこの異常な気象状況において非常に被害が拡大するのではないかなといふことが考えられます。そのことについて何か対策を考えておられるかどうかといふことについてお伺ひしたいといふことが1点。

それからもう一点は、特に我々議員をしておりましたら道の関係あるいは水路の関係、いろいろな地区においては、区民の皆様方から区長に対しての要望事項等々がたくさん出てこれておるといふふうに聞いております。その中で、区長がいろいろ行政と関わった中でお願い事をいろいろされておるような状況も聞いております。しかしながら、その目的が果たされていないといふふうなことの中で、これは議員に頼まにゃいけんといふことの中で、よく議員、我々は頼まれることが多々ございます。

しかしながら、頼まれたといつたところで、全てを報告して何とかしていただきたいといふようなことは、議員の立場で私は言えるような状況ではないといふふうに思っております。あくまでも区長を中心にいろいろ事を図っていただきたいといふふうに思ふわけでございませうけど、その中で、私が1つ、特にお願いをしておきたいのは、いろいろな要望を受けたことについてはきちっと記入をしていただいて、そのことについて対応した経過、そのことについても私は記述をしていただきたい。そして、そのことについて月に1回ぐらいは課の中でどういふことがあつた、どういふことについてこういうような対応をしておるといふような問題点について課題研究を私はぜひしていただきたい。同じようなことを話の中に聞かされることが多々ございませうので、そういうことについて、よく課の中できちっとした対応をしていただくためにも、そういうふうな対策をぜひ考えて実施をしていただきたいといふふうに思ひます。その2点について御報告をいただきたいと思ひます。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 桃、水稲の被害ということで、市独自の補助のことだと思われ
ます。

昨年まで、この農業所得の減ということで、農業共済の加入金の補助を行って
おりました。本年度については、有効な補助の活用が現在できておりませんが、
今後有益な補助があった場合に、そちらをまた利用して加入の促進に努めたい
と考えております。

以上です。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 道路とか水路であるとかの区長
からの要望につきまして答弁させていただきます。

現在におきましても、区長並びに区の代表の方からそういう要望があった場合
には、対応記録簿ということで、要望の内容と、それから対応の状況について記
載をしまして、建設課の中で回覧をさせていただいてる状況ではございます。

ただ、月に1度なりの課の中での対応の検討というか、そういうものは不足
してるところでございますので、そちらについては今後、月に1度はそうい
う対応記録簿をまとめたもので対応の検討をさせていただく機会を設けさ
せていただきたいと思います。

以上でございます。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武文委員。

○委員（佐藤武文君） 今、岡田課長の説明の中に、被害があったらそのこ
とについての対応を考えたいというようなお話だったと思うんです。そう
じゃなしと、起こり得る被害に対して、それをある程度想定をした中で
何案かについて、私は考えておく必要があるんじゃないかなと。要は、
言われたからそれについて対応するというのではなしと、言われる前に
案というものはつくっておいて、その案について、このことについては
こういうふうに対応しよう、あのことについてはこういうふうに対応し
ようというようなことを事前に、私は計画というか案をつくっておく
べきではないかというふうに思うんですけど、そのことについてお伺い
したいと思うんです。

それからもう一点、先ほど福圓参与から報告がありましたように、月に1
回ぐらいはそういうようなことの検討会をしてもよいというようなお
話があったんですけど、私どもがお話を聞くのは、本当、このく
らいのことがなぜ今言う、行政のほうで対応ができなかったの
かなというものの思いのほう非常に、お話を聞いている中で多い
んです。そういうことの中で、大きな問題ではなしと、本当に
細かい軽微な問題についての相談が多いわけなんで、そのこ
とが私はあるから、できるだけ月に1度ぐらいはそういう
ようなことについて課の中で調整をしてい

ただければ、そういうことがだんだん減っていくのではないかなというふうに思っておりましたので、そういうようなことについて提案をさせていただきました。そのことについて再度お答えをいただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） すみません、説明の仕方がまずかったようです。

収入保険、あらゆる風水害であるとか暑さであるとか、病気でもありますし、そういったことで農家の所得が減った場合に対応できる収入保険、そちらの加入の推進をしたいと考えておりました、今実際に財源につきましては有益な補助、見つかっておりません。今後、どのようにか対応できるように検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○産業振興部長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大窄産業振興部長。

○産業振興部長（大窄暢毅君） 御提言ありがとうございます。

日頃の情報収集、状況把握、こういったところ、農家の方の声であるとかそういうところに努めまして事前に対策を検討しておくことは非常に重要だと思っております。その辺、もう一回整理させていただいて準備を進めたいと思います。

以上です。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設事業部参与。

○建設事業部参与兼建設課長（福圓章浩君） 御提案ありがとうございます。

確かに区長からの要望、かなりたくさんございますので、迅速な対応ができてない部分があったように思います。今後につきましては、そういうことが少しでも少なくなるように、そういう検討の場を設けさせていただいて、迅速な対応を心がけていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武文委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤武文君） よろしくお願ひします。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 今の佐藤武文委員の質問に関連してなんですけど、建設課では要望についての記録簿をつけてるってことなんですけど、ほかの課に関してはどうなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 上下水道課についてですが、下水道の整備等については計画的にやっております。水道とかの修繕につきましても対応の記録簿とかも作って、課内で共有はいたしております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 産業振興部のほうはどうですか。

岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 農林課では、軽微な案件については対応記録等を取っておりませんが、今後重要な課題になるといったものについては対応記録を残しておりまして、協議のほうは進めているところでございます。

以上です。

○商工観光課長（小西憲裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小西商工観光課長。

○商工観光課長（小西憲裕君） 商工観光課では、一般の方からの要望とかといったものは少ないんですけども、事業者からの要望とか相談はありますので、そういったものについては記録をつけて台帳にまとめているような状況であります。

○委員長（金谷文則君） 横山委員、よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） これは別にどの課がどうかではなくて、やっぱりさっき佐藤武文委員がおっしゃったとおり、市民の要望に対してちゃんと対応できてるかっていうのはちゃんと管理していかなくちゃいけないのかなと思うので、各課でばらばらな感じがしたので、何かそこは統一して市民の要望に応えるようにしたほうがいいかなと思いますので、よろしく願います。

○委員長（金谷文則君） そのようにお願いいたします。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） 他にないようでございますので、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会としたいと思います。

午前11時14分 閉会